

せりがやの輝く「蒼空」の下「風爽」かおる「丘陵」にたたずむ「陽溜」

せりがやの丘陵

町田二中拠点グループ拠点校
町田第二中学校
サポートルームだより
第13号 2022年6月

知らざあ言って聞かせやしょう

歌舞伎の中で最も人気の高い演目の一つ、「青砥稿花紅彩画（あおとそうしはなのにしきえ）」（通称「白波五人男」）で、弁天小僧が語る有名なセリフの冒頭の部分です。おそらく、歌舞伎を知らない人であっても、この言葉や弁天小僧という名前は、一度ならず耳にしたことがあるはずです。

このセリフ、簡単に言えば「自己紹介」です。女になりすましていた白波（泥棒）の弁天小僧が、自分の正体を明かし、凄んで語り始めます。

知らざあ言って聞かせやしょう

浜の真砂と五右衛門が 歌に残した盗人の 種は尽きねえ七里ヶ浜 その白浪の夜働き
以前を言やあ江ノ島で 年季勤めの児ヶ淵 百味講で散らす蒔銭を 当てに小皿の一文子
百が二百と賽銭の くすね銭せえだんだんに 悪事はのぼる上の宮 岩本院で講中の
枕捜しも度重なり お手長講と札付きに とうとう島を追い出され それから若衆の美人局
ここやかしこの寺島で 小耳に聞いた祖父さんの 似ぬ声色で小ゆすりかたり
名せえ由縁の弁天小僧菊之助たあ 俺がことだ

河竹黙阿弥の作による名調子は、日本で一番有名で「粋（いき）な」自己紹介です。これをお手本にしない手はありません。自己紹介といえは、たいていは名前を伝え、好きな音楽やゲーム、趣味などを言って終わりです。しかし、町田二中サポートルームの自己紹介は一味も二味も違います。まずは、ペアになってお互いの素性（？）の聞き取りをします。ここでは、「自己理解の力」「他者の意図や感情を理解する力」「言語の受容と表出の力」が求められます。その後、聞き取った内容に基づき、七五調でセリフを考えていきます。ここで必要なのは「創造力」です。

2時間の授業の最後には、「白波五人男」ならぬ「サポ五人男」が番傘（本当はビニール傘）片手に自己紹介を行い、大向こう（おおむこう）から「〇〇屋！」（〇にはそれぞれの名前）の喝采を受けていました。個人情報の関係で、ここでは紹介できないのが残念ですが、このようにサポートルームでは、高度な言語活動をとおして、コミュニケーション力の向上を図っています。



コラム「続・ATI（適性処遇交互作用）」

サポートルーム町田二中拠点グループ主任

主幹教諭 最上 学（声楽家、公認心理師）

町田二中2学年の学年通信、「明日を笑顔に」の第7号（5月27日付）に、（町田二中の）先生方の中学校時代の勉強法が紹介されていました。昨年度、このコラムで、「ATI」について書かせていただきましたが、その具体的な例ですので、ぜひ参考にさせていただきたいと思い再び筆をとりました。

ーATIとは？

ATIとはAptitude Treatment Interactionの略で、「適性処遇交互作用」と訳されます。「人にはその適性（＝性格や特性）に合った処遇（＝学習方法）があり、それらの交互作用によって結果が決まる」ということです。これはつまり、自分に合わない方法でいくら勉強して（させて）みても、結果は出ないということでもあります。「自分はこうやって勉強をしてきたから」と、お子さんに自分のやり方で特訓するお父さんお母さんがいますが、残念ながら、それでうまくいったという話はあまり聞いたことがありません。親子であっても、合う学習方法は違うのです・・・そのようなことを、昨年度、書かせていただきました。

ー先生たちの勉強法

先生たちの勉強法を見てすぐに気づくのは、全員が違っているということです。中には、ほとんど勉強しなかったと豪語する先生もいますが、勉強しない人が学校の先生になれるはずはありませんので、これは謙遜でしょう。（選択バイアスとも言う。）どの先生も自分に合った学習方法を見出し、それによって努力したことで勉強ができるようになったのです。これこそが、ATIを証明するものではないでしょうか。



ーデータサイエンス

現代は、「データの時代」とも言われます。企業のみならず、個人レベルにおいても、データをどのように分析し活用していくかという「データサイエンス」の力が求められています。現行の『学習指導要領』（平成29年改訂）で、「統計教育」の充実が図られているのはそのためです。

今回、先生方の勉強方法という貴重なデータが得られました。多くの先生が、自分の中学時代の勉強方法を惜しみなく教えてくれています。しかしながら、「〇〇先生はこんな勉強をしていたんだ！」という単なる「感心」で終わってしまったのでは勿体ないことです。これらのデータをしっかりと分析すれば、きっと自分の適性に合った学習法が見出せるはずです。あるいは、複数の先生の学習法を組み合わせるのもよいかもしれません。その勉強法についてもっと詳しく知りたければ、直接先生に聞くことだってできます。そのような意味で、この町田二中の2学年通信は、まさに「ビッグデータ」であり、「宝の山」と言うことができると思います。それを生かすか生かさないかは、皆さん次第です！

教育相談を随時受け付けています（どなたでも、気軽にお電話を！）

町田市立町田第二中学校サポートルーム 電話042-722-1251（直通）